

乱流2色仕上げ  
施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー      JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリコ <sup>®</sup> ム系シーラー	15kg/缶	約75~100 m <sup>2</sup>
	セーフシーラー JS-800	1液水系研削シーラー	16kg/缶	約80~106 m <sup>2</sup>
主材	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	A色 : 約11 m <sup>2</sup> B色 : 約20 m <sup>2</sup>

A色(薄い色)は、下塗り、上塗りに使用。

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ(ステンレス製)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<乱流2色仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JQ-500シリーズ A色を無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテ(ステンレス製)にて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい

3.主材 配り塗り

配 合	J Q - 5 0 0 シーラ	2 0 k g
塗 布 量	約 2 . 0 k g / m <sup>2</sup> ( A 色 1 k g / m <sup>2</sup> ) ( B 色 1 k g / m <sup>2</sup> )	
施工道具	金ゴテ(ステンレス製)	
	・ 2 色 の ジョリパット を コテ に 等 量 取 り 、 配 り 塗 り 。 ( 図 - 1 、 2 )	

追いかけて(5分以内)

4.パターン付け

・金ゴテ(ステンレス製)で楕円を描くようコテ動かし、ジョリパットの表面を引きずるようにして模様をつけてください。(図-3)

< 施工のポイント >

- ・ 2色 (A色、B色) のジョリパットを等量ずつ、コテ板の上に乗せてください。(図 - 1)

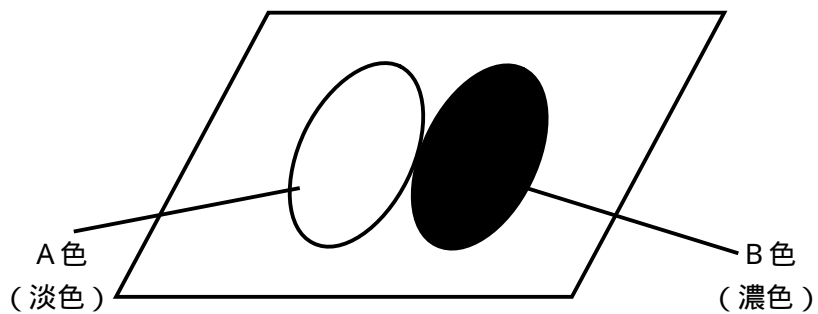


図 - 1

- ・ 2色 (A色、B色) のジョリパットを等量ずつ、コテにとり、2色が混じり合わないよう壁面に配り塗りしてください。(図 - 2)

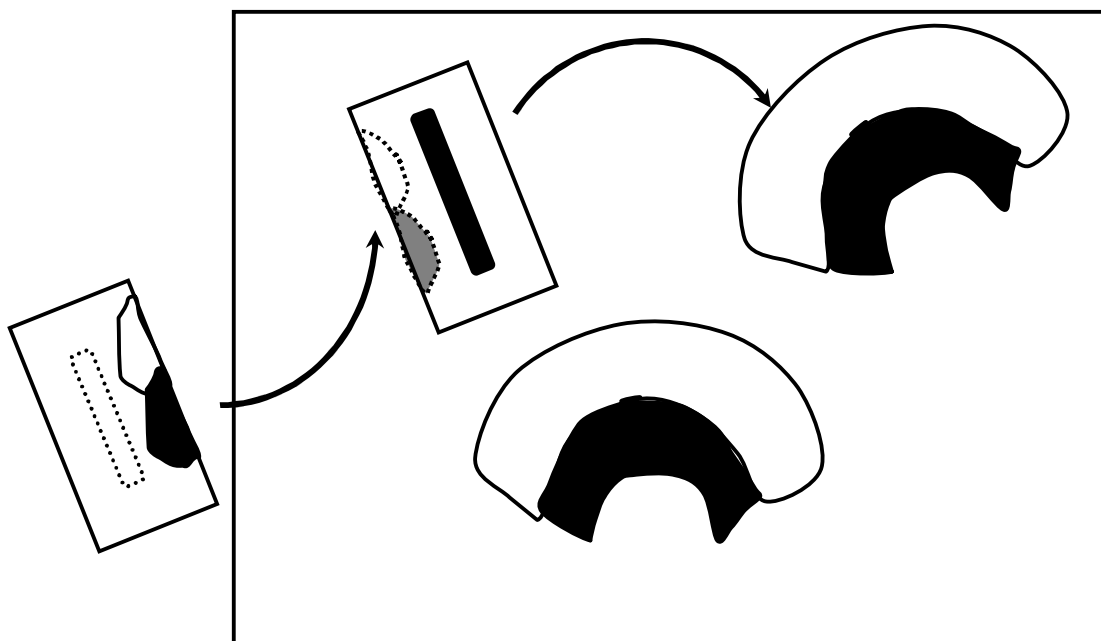


図 - 2

- ・ ジョリパットの表面を金ゴテで引っ張るようにして模様をつけてください。  
このとき、コテのエッジ部分は立てず、コテの裏面全体がジョリパットにくっつくようにしたまま、楕円状に動かすようにしてください。(図-3)  
金ゴテを から の順に動かし、パターンを付ける。 の方向にコテを抜くと、コテ切れが良くキレイに意匠がでます。

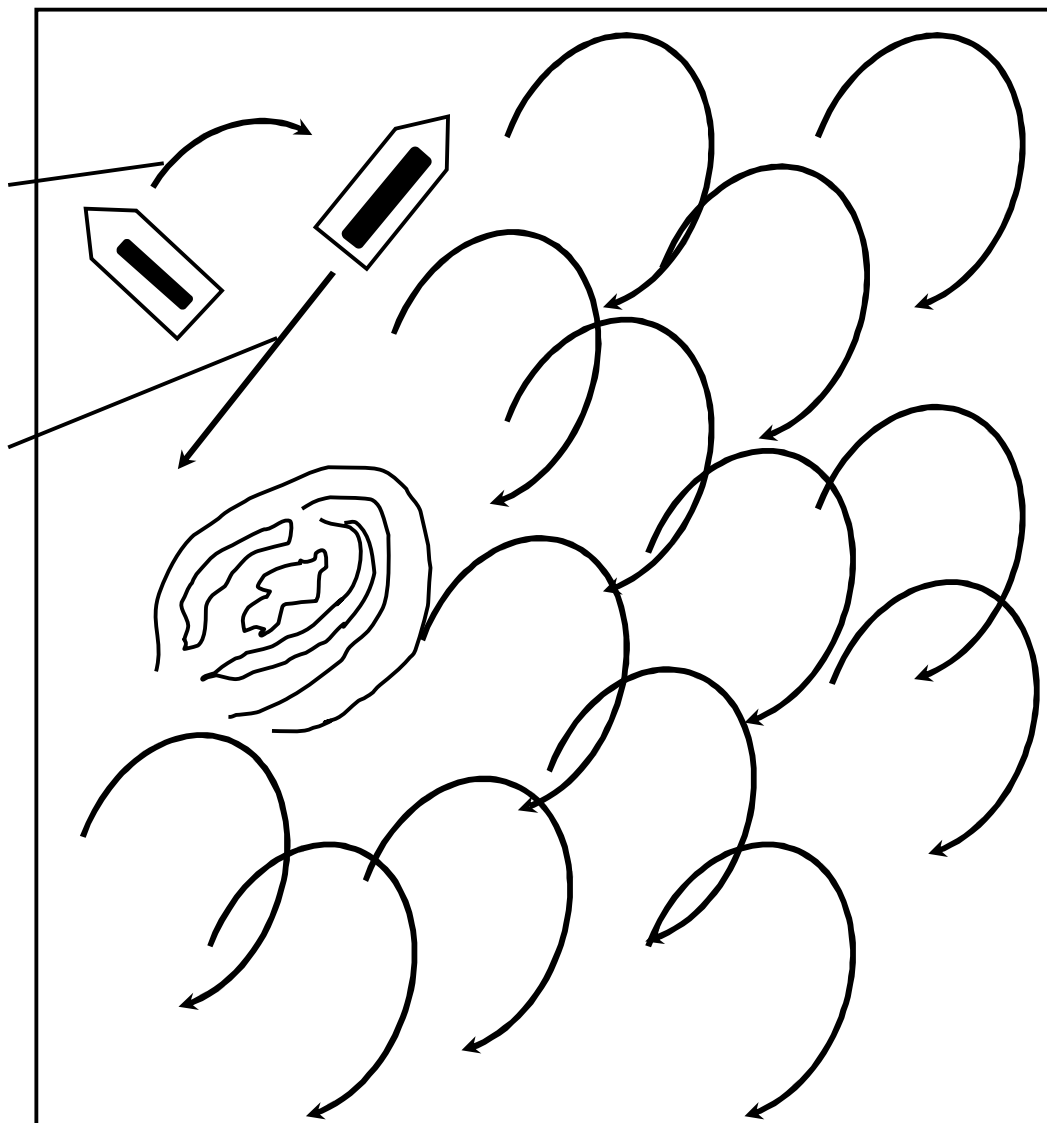


図 - 3

- ・ パターンは、1回で付けるようにしてください。  
何度もやり直すと2色が混じり合ってしまうので注意してください。

< 施工の注意事項 >

- ・天候、風等の条件によっては、極端なパターンの段差部分にヘアークラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。(図-4)

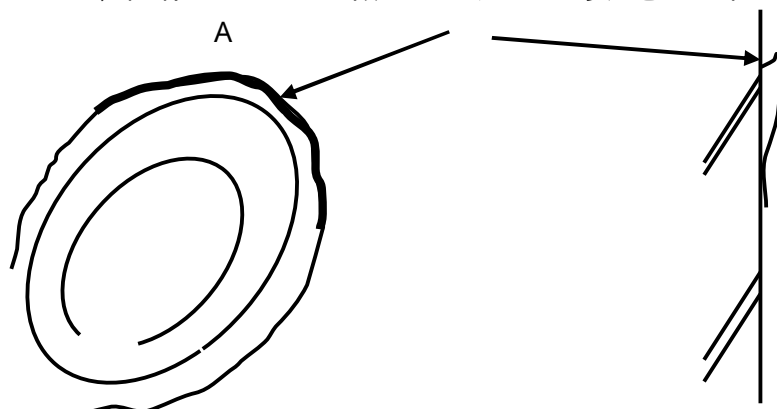


図 4

- ・コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。  
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温5℃以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上